

2013(平成25)年3月期 第3四半期決算



現況と今後の展望(業績説明会資料)



池袋店：東京都豊島区
2012年12月20日オープン

株式会社ラウンドワン

代表取締役社長 杉野 公彦

東証・大証 市場第一部

Code Number: 4680

2013年2月8日

2013年3月期 第3四半期 連結決算の概要



		単位	2012年3月期 3Q (2011.4~2011.12) 前四半期実績	2013年3月期 3Q (2012.4~2012.12) 当四半期実績	増減
店舗	期末店舗数	店舗数	110	113	+3
	期中店舗稼働月数	月数	984	1,005	+21

(億円未満は切り捨て表示)

損益 (PL)	ボウリング	億円	234	211	23
	アミューズメント	億円	276	256	20
	カラオケ	億円	61	60	0
	スポッチャ	億円	66	72	+6
	その他	億円	23	21	1
	総売上	億円	662	623	38
	営業利益	億円	114	65	48
	経常利益	億円	79	38	41
	売上高経常利益率	%	12.0%	6.2%	5.9%
	四半期純利益	億円	24	13	11

【四半期純利益の計算式】

(千万円未満は切り捨て表示)

2012年3月期 第3四半期 (2011.4~2011.12)		2013年3月期 第3四半期 (2012.4~2012.12)	
経常利益	79.6億円	経常利益	38.3億円
セールアンドリースバックに伴う損失	21.2億円	賃貸借期間終了に伴う退店損 (瑞穂店:2012年9月2日退店)	2.4億円
その他の特別損益	2.7億円	セールアンドリースバックに伴う損失	11.5億円
法人税等調整額	30.9億円	その他特別損益	0.7億円
四半期純利益	24.7億円	法人税等調整額	10.3億円
		四半期純利益	13.1億円

2013年3月期 第3四半期連結決算の分析



2012年11月9日発表の計画と対比しております。

(単位:億円 単位未満は切り捨て表示)

		2013年3月期3Q (2012.4~2012.12) 計画	2013年3月期3Q (2012.4~2012.12) 実績	差額	備考
損益	ボウリング	213	211	2	【経常利益の計画差の要因】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> (計画) 経常利益 37億円 </div> <div style="margin: 5px 0;"> 売上高の減少 5億円 人件費の減少 +2億円 アミューズ景品費の減少 +1億円 リース料の減少 +2億円 その他費用の減少 +1億円 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> (実績) 経常利益 38億円 </div> <div style="margin: 5px 0;"> 経常利益 計画差イメージ </div>
	アミューズメント	258	256	2	
	カラオケ	61	60	0	
	スポッチャ	73	72	0	
	その他	21	21	+0	
	総売上	629	623	5	
	売上原価	549	544	4	
	売上総利益	79	78	1	
	販売費及び一般管理費	13	12	0	
	営業利益	66	65	0	
	営業外損益	29	27	+1	
	経常利益	37	38	+0	
	売上高経常利益率	5.9%	6.2%	+0.2%	
	特別損益	4	14	10	
税引前四半期純利益	32	23	9		
法人税等調整額	13	10	+3		
四半期純利益	19	13	6		

2013年3月期 連結四半期 実績と計画



2013年3月期 (2012年4月～2013年3月)

(単位:億円 単位未満は切り捨て表示)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期			第4四半期	下期	通期
	実績	実績	実績	計画	実績	差額	計画	計画	計画
総売上	207	225	432	196	190	5	238	435	868
売上原価	181	183	364	184	180	4	184	368	733
売上総利益	26	41	67	11	10	1	54	66	134
販売費及び一般管理費	4	4	8	4	4	0	4	9	17
営業利益	22	37	59	6	6	0	50	57	117
営業外損益	11	9	21	7	5	1	7	15	37
経常利益	10	28	38	0	0	0	42	41	80
売上高経常利益率	4.9%	12.4%	8.8%	0.4%	0.1%	+0.5%	17.8%	9.6%	9.2%
特別損益	2	1	3	1	11	10	58	59	63
税引前当期純利益	7	26	34	1	11	9	15	17	17
法人税等調整額	3	10	14	0	4	3	6	7	7
当期(四半期)純利益	4	15	20	0	7	6	9	10	10
既存店売上高前年比(国内)	10.9%	10.1%	10.4%	7.5%	10.1%	2.6%	4.0%	5.6%	8.1%

既存店舗のセール・アンド・リースバックが成立した際には、業績に与える影響を含めて随時開示する予定です。

第3四半期までの実績は確定しましたが、第4四半期は計画を記載しております。従いまして、第3四半期までの実績と四半期計画等を集計しても、下期計画や通期計画の数字とは合致しませんので、ご了承願います。

2013年3月期 連結計画

出店と損益



2012年11月9日開示資料から変更してありません。

(単位未満は切り捨て表示)

		単 位	2012年3月期 通期実績	2013年3月期 通期計画	増 減
店 舗	新規出退店数	店	1	3	+2
	総店舗数(期末)	店	110	113	+3
	【内訳】所有店舗	店	63	53	10
	賃借店舗	店	47	60	+13
	総店舗稼働月数	月数	1,314	1,344	30
損 益	ボウリング	億円	324	303	20
	アミューズメント	億円	364	345	18
	カラオケ	億円	82	84	+2
	スポッチャ	億円	94	105	+10
	その他	億円	30	29	1
	総売上	億円	895	868	27
	営業利益	億円	160	117	43
	経常利益	億円	114	80	34
	売上高経常利益率	%	12.8%	9.2%	3.6%
	当期純利益	億円	27	10	17

2013年3月期の新規出退店・・・国内出店 3店舗 ダブルシティ東京ブザン店、千日前店、池袋店 / 国内退店 1店舗 瑞穂店
 米国出店 1店舗 札幌店

当期純利益の計算式：

【2012年3月期 通期実績】経常利益114.8億円 - セルアンド・リースパックによる損失50.3億円 - 減損損失2.9億円 - 法人税等による影響33.6億円 = 当期純利益27.8億円

【2013年3月期 通期計画】経常利益80億円 - セルアンド・リースパックによる損失58億円 - その他アミューズ基板の除却等5億円 - 法人税等による影響7億円

= 当期純利益10億円

2013年3月期 連結計画

キャッシュ・フロー



2012年11月9日開示資料から変更していません。

(単位未満は切り捨て表示)

		単位	2012年3月期 通期実績	2013年3月期 通期計画
資金	当期純利益	億円	27	10
	法人税等調整額(引当・納付・還付を合算表示)	億円	41	10
	セール・アンド・リースバックの実施による 資金の流出を伴わない損失等	億円	52	63
	配当金額	億円	19	19
	減価償却費(リース取引を除く)	億円	84	67
	簡易キャッシュ・フロー	億円	187	131
	設備投資額(リース取引を除く)	億円	25	27
	セール・アンド・リースバックの実施による資金 の増加	億円	224	170
	保証金の流動化による資金の増加	億円	15	-
	簡易フリーキャッシュ・フロー	億円	401	274
	現預金残高	億円	294	267
	有利子負債残高	億円	1,109	807
	実質有利子負債残高	億円	814	540

2013年3月期の設備投資額の概算内訳

- ・約14億円・・・新規店舗(11億円:日本国内3店舗、3億円:米国1店舗)
- ・約13億円・・・既存店舗(一部の改装やアミューズメント基板(キット)購入他)

10店舗前後の実施を見込んでおります。

店舗数・損益状況(連結)と既存店売上前年比(国内)の推移



2012年11月9日開示資料から変更していません。

店舗・損益の推移(連結ベース)

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期 計画
期中出店数	11	15	11	13	11	4	1	4
期中退店数	0	0	1	2	0	0	0	1
期末店舗数	58	73	83	94	105	109	110	113
【内訳】所有店舗	29	42	49	61	69	69	63	53
賃借店舗	29	31	34	33	36	40	47	60

(注) 2006年3月期末の所有店舗には、2007年3月期以降に連結した会社が所有していた店舗を含んで表示しております。(億円未満は切り捨て表示)

売上高	502億円	658億円	779億円	779億円	821億円	843億円	895億円	868億円
営業利益	127億円	179億円	182億円	136億円	120億円	114億円	160億円	117億円
経常利益	134億円	163億円	159億円	97億円	78億円	69億円	114億円	80億円
経常利益率	26.7%	24.9%	20.5%	12.6%	9.6%	8.2%	12.8%	9.2%
当期純利益	119億円	97億円	91億円	39億円	33億円	126億円	27億円	10億円

(注) 2006年3月期は連結財務諸表を作成していないため、非連結額を記載しております(2007年3月期以降は連結額を記載しております)。

既存店売上前年比の推移(国内店舗のみ)

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期 計画
ボウリング	+19.4%	+7.1%	+1.4%	6.5%	4.0%	3.7%	+0.4%	9.5%
アミューズメント	+11.5%	+0.1%	6.8%	10.8%	9.8%	+0.0%	1.1%	10.5%
カラオケ	4.5%	+4.0%	1.2%	7.3%	13.1%	+3.4%	+15.8%	2.0%
スポッチャ	-	-	16.1%	9.8%	9.2%	4.5%	+7.5%	+1.3%
その他	11.3%	9.2%	+13.2%	+11.4%	3.9%	14.5%	+1.3%	9.2%
総売上	+11.6%	+2.0%	4.0%	8.5%	7.7%	2.2%	+1.7%	8.1%

(注) 米国店舗を除いて集計しております。

既存ローンの借り換えと資産等の推移(連結)



既存ローンの借り換え

	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 予定	2014年3月期 予定	2015年3月期 予定
期中借り換え額	約110億円	約128億円	約159億円	約308億円	約54億円	約193億円	約45億円
進捗状況	全額借り換え済み	全額借り換え済み	全額借り換え済み	全額借り換え済み	概ね借り換え済み	既存借入先を中心に交渉予定	既存借入先を中心に交渉予定

(注) 上記の借り換え額は、連結子会社を含む当社グループ全体の金額です。

2013年3月期の借り換え額(約54億円)の進捗状況 約51億円(借り換え済み)、約3億円(手元資金で返済予定)

2014年3月期の借り換え額(約193億円)には、メインバンクである三井住友銀行が組成し、その大部分の融資を実行したシンジケート・ローン(約146億円)が含まれております。

資産等の推移

(億円未満は切り捨て表示)

	2007年3月期 実績	2008年3月期 実績	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 計画
総資産	1,663億円	1,763億円	2,160億円	2,512億円	2,521億円	2,282億円	1,968億円
純資産	618億円	696億円	723億円	856億円	790億円	798億円	789億円
株主資本比率	37.2%	39.5%	33.5%	34.1%	31.3%	35.0%	40.1%
現預金残高	288億円	229億円	215億円	308億円	227億円	294億円	267億円
有利子負債残高	939億円	985億円	1,179億円	1,388億円	1,361億円	1,109億円	807億円
保証債務	31億円	409億円	419億円	318億円	82億円		
実質有利子負債残高	682億円	1,165億円	1,383億円	1,398億円	1,216億円	814億円	540億円
リース債務	258億円	268億円	271億円	259億円	284億円	273億円	280億円

(注) 保証債務とは、子会社にて調達した開発期間中のローンに対してラウンドワンが連帯保証するものです。これらは店舗のオープン時期にローンが返済されるため、保証債務は無くなりますが、通常は長期ローンに切り替わる事により、有利子負債に計上されます。

2013年3月期計画には、現在計画中及び想定される既存店舗のセール・アンド・リースバックによる有利子負債の減少額を織り込んでおります。

中期経営計画(2016年3月期まで)



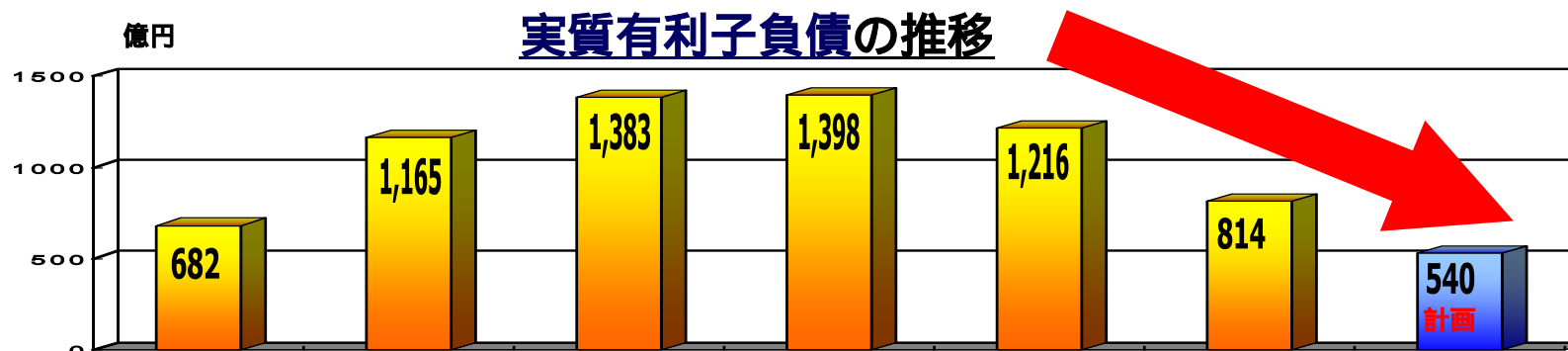
有利子負債の削減 (B/S)

セール・アンド・リースバック(店舗資産(土地・建物等)を売却と同時に賃借)の活用

年間返済額 約300億円: 約定返済額 約100億円 + セール・アンド・リースバックの実行による返済額 約200億円

2016年3月期までに実質無借金体制へ

セール・アンド・リースバック実行時に売却損が発生した場合、会計上の特別損失となり当期純利益が減少いたします(税効果の影響により、キャッシュ・フローではプラス面も)。また売却により得た資金が借入金残高よりも少ない場合は、手元資金の流出を伴う可能性があります。



(億円未満は切り捨て表示)

	2007年3月期 実績	2008年3月期 実績	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 計画
現預金残高	288億円	229億円	215億円	308億円	227億円	294億円	267億円
有利子負債残高	939億円	985億円	1,179億円	1,388億円	1,361億円	1,109億円	807億円
保証債務	31億円	409億円	419億円	318億円	82億円		
実質有利子負債残高	682億円	1,165億円	1,383億円	1,398億円	1,216億円	814億円	540億円

当期中に予定しているセール・アンド・リースバック取引の“来期へのずれ込み”や、来期予定取引の“当期への前倒し”等により成約時期が想定より著しく変動した場合、当期純利益は計画額に比べて増減する可能性があります。

経常利益200億円の達成 (P/L)

既存店舗の業績向上+新規出店により達成へ

・既存店舗の業績向上: 2012年3月期実績を100として2016年3月期までに既存店売上が約107となれば達成が可能

ボウリング

I BOWLINGキャンペーン

来場回数に応じた特典（スタンプカード形式）

ご来店3回目 マイシューズ特典

ご来場4回目 スコアアップDVDプレゼント

ご来場5回目 マイボール特典

クラブ会員以外のお客様も対象

ネットワーク対戦ボウリングのバージョンアップ

ラウンドワンオリジナルのネットワーク対戦リアルボウリング

「がんばれ！ぼうりんぐ番長！」に**新機能の追加を検討**

- ・お試し対戦 … 番長カードを持たない方もお試し体験
- ・チーム戦 … “2 vs 2” や“3 vs 3”のチーム対抗戦

「エヴァンゲリオン新劇場版」とのタイアップ企画

販促グッズに**活用予定**

タイアップ期間中、「エヴァンゲリオン」モデルの

“ボウリング着ぐるみ” **設置を検討**



アミューズメント、カラオケ、スポッチャ

アミューズメント

景品機器の台数増加と景品構成の変更

- ・キャラクター雑貨、ぬいぐるみ、お菓子類の構成比率
- ・日替わりイベント等の開催

カラオケ

プレゼントキャンペーン

- ・オリジナルグッズをプレゼント

期間限定メニュー

- ・3ヵ月毎に限定メニューを提供予定
- 「エヴァンゲリオン新劇場版」とのタイアップ
- ・エヴァンゲリオンをモチーフとしたルーム
(Hello Kittyルームも継続)

スポッチャ

プレゼントキャンペーン

- ・オリジナルグッズをプレゼント

36店舗で無料送迎バスの運行

- 「エヴァンゲリオン新劇場版」とのタイアップ
- ・販促グッズに活用予定



ラウンドワン×エヴァンゲリオン新劇場版

©カラー

エヴァンゲリオン新劇場版

2007年より公開し、最新作『エヴァンゲリオン新劇場版:Q』
(2012年11月公開)まで、続々とヒットをかさね、
20~30代では男女を問わず、高い認知度を誇る
『エヴァンゲリオン新劇場版』とのタイアップを、
2013年4月より開始致します。
広告宣伝でのキャラクターの登場のみならず、
販促ノベルティ等でもさまざまな展開を予定しています。



©カラー

今後の出店



2013年3月期オープン店舗

オープン時期	出店国	店舗名 / ロケーション	店舗タイプ
2012年4月19日オープン済み	日本	ダイバーシティ東京 プラザ店 (東京都江東区青海:お台場フジテレビ本社ビル前)	スタジアム(スポッチャ含む)・ロードサイド (大型商業施設『ダイバーシティ東京 プラザ』内)
2012年4月27日オープン済み	日本	千日前店 (大阪府中央区難波:千日前通り沿い)	スタジアム(スポッチャ含む)・繁華街
2012年9月8日オープン済み	米国	モレノ バレー店 / カリフォルニア州	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)
2012年12月20日オープン済み	日本	池袋店 (東京都豊島区東池袋:サンシャイン60通り沿い)	スタンダード・繁華街

2013年4月以降の計画店舗

オープン予定時期	出店国	店舗名 / 出店予定地域	店舗タイプ
2013年 夏頃	米国	(仮称)レイクウッド店 / カリフォルニア州	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)
2014年 春頃	米国	(仮称)サンノゼ店 / カリフォルニア州	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)
2014年 春頃	米国	米国第5号店	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)
2014年 夏頃	米国	米国第6号店	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)

【注意】

- ・オープン時期及び店舗名は、諸事情により変更される場合があります。
- ・出店計画店舗につきましては、予告なしに出店を中止・変更する可能性があります。
- ・日本国内においては、上記以外への新規出店は原則凍結することとし財務体質の強化を図りますが、デベロッパー側にて内装を含めた初期投資額の大部分を負担頂ける場合や、首都圏の大型ショッピングモール内等の十分な収益が見込める物件に限り出店する可能性があります。

米国への出店



米国店舗の現況

2010年8月に第1号店をプエンテヒルズモールへ出店。2012年9月に第2号店をモレノバレーモールへ出店。

・2012年3月期の売上構成比 アミューズメント 57.2%、ボウリング 20.8%、飲食 15.5%、カラオケ4.0%、その他2.5%

【現在営業中の店舗】

	オープン時期	店舗名/地域	店舗タイプ
1	2010年8月	プエンテヒルズモール店 (カリフォルニア州 ロサンゼルス)	スタンダード・ロードサイド(プエンテヒルズモール内) http://www.puentehills-mall.com/
2	2012年9月	モレノバレー店 (カリフォルニア州 リバーサイド)	スタンダード・ロードサイド(モレノバレーモール内) http://www.morenovalleymall.com/

1店舗当たりの設備投資額・・・約5億円(うち約2億円はファイナンス・リースを活用予定)

日本と米国のボウリング市場

	日本	米国
市場規模	約760億円	約70億ドル (約6,300億円; US\$=¥90)
センター数	約900センター (ほぼ民営のみ)	約5,350センター (民営:約4,800センター/その他 (軍・教会等:約550センター))
レーン数	約25,000レーン	約111,000レーン
参加人口 (1年に1回以上ボウリングをする人口)	約1,690万人	約7,100万人

(『レジャー白書2012』を参考に当社による推定値を記載)

【米国のボウリング市場の現況】

大手2社(Brunswick、AMF Bowling)が約400店舗、準大手が約50店舗程度を運営。その他のほとんどは家族経営のセンターである。不況時に強く、ここ数年間は安定成長を継続。古いタイプのボウリング場は年々閉鎖され、ボウリング以外のアイテム(ゴーカート、アーケードゲーム、ミニゴルフ等)で複合化された店舗が年間20~50店舗程度建設されている。他のレジャー(ゴルフ、釣り、テニス、ビリヤード、サイクリング、ローラースケート、アイススケート、マラソン)に比べて参加率が非常に高い。身近な社交の場として、平均所得者以上の層の利用割合が増えている。

2013年3月期 全社売上と既存店前年比 実績と計画



全社売上 実績と計画 (連結ベース)

(単位未満は切り捨て表示)

	単位	第1Q	第2Q	上期	第3Q	第4Q	下期	通期
		実績	実績	実績	実績	計画	計画	計画
ボウリング	億円	72	75	148	63	89	155	303
アミューズメント	億円	84	91	176	80	87	169	345
カラオケ	億円	18	22	41	19	23	43	84
スポッチャ	億円	23	28	52	20	31	52	105
その他	億円	7	7	15	6	7	14	29
総売上	億円	207	225	432	190	238	435	868



第3四半期までの実績は確定しましたが、第4四半期は計画を記載しております。従いまして、第3四半期までの実績と四半期計画等を集計しても、下期計画や通期計画の数字とは合致しませんので、ご了承願います。

既存店売上前年比 実績と計画 (単体ベース：米国店舗を除く)

(小数第2位を四捨五入)

	単位	第1Q	第2Q	上期	第3Q	第4Q	下期	通期
		実績	実績	実績	実績	計画	計画	計画
ボウリング	%	13.3	12.5	12.9	11.6	4.2	6.0	9.5
アミューズメント	%	11.4	12.9	12.2	12.3	7.3	8.7	10.5
カラオケ	%	7.5	3.1	5.2	3.2	+2.8	+1.2	2.0
スポッチャ	%	3.8	+3.0	0.2	2.1	+4.0	+2.8	+1.3
その他	%	7.4	9.6	8.5	8.7	10.0	9.9	9.2
総売上	%	10.9	10.1	10.4	10.1	4.0	5.6	8.1



第3四半期までの実績は確定しましたが、第4四半期は計画を記載しております。従いまして、第3四半期までの実績と四半期計画等を集計しても、下期計画や通期計画の数字とは合致しませんので、ご了承願います。

店舗の状況



出退店の推移

	出店数		退店数		期末 総店舗数
	日本	米国	日本	米国	
～2004年3月期	45		4		41
2005年3月期	6				47
2006年3月期	11				58
2007年3月期	15				73
2008年3月期	11		1		83
2009年3月期	13		2		94
2010年3月期	11				105
2011年3月期	3	1			109
2012年3月期	1				110
2013年3月期	3	1	1		113

期末総店舗数の内訳				
日本				米国
スタンダード		スタジアム		スタンダード
繁華街	ロードサイド	繁華街	ロードサイド	ロードサイド
7	34	-	-	-
8	34	-	5	-
8	34	-	16	-
8	34	-	31	-
8	34	-	41	-
7	45	-	42	-
7	55	-	43	-
8	57	-	43	1
8	58	-	43	1
9	57	1	44	2

7店舗の退店理由（契約期間の満了：5店、近隣に大型店を新築：1店、テスト店舗の閉鎖（テスト期間 約2年）：1店）

2008年3月期に退店した『富士店』は、翌2009年3月期に完全に建て替えを行い、新築リニューアルオープンしております。

エリア別店舗数（2013年1月末現在）

出店エリア	北海道・東北	北陸・甲信越	関東	中部・東海	関西	中国・四国	九州・沖縄	アメリカ	合計
店舗数	10	4	33	14	31	8	11	2	113
シェア	8.8%	3.5%	29.2%	12.4%	27.4%	7.1%	9.7%	1.8%	100.0%

各種お知らせとIRに関するお問い合わせ先



本資料取扱上のご注意

本資料は投資の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料により被った全ての損害について、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません。なお、本資料は作成日現在の情報をベースにしており、その作成には細心の注意を払っておりますが、その内容についてその実現を保證するものではなく、万が一内容に誤りがあった場合においても、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません（万が一、数値等に誤りを発見した場合には、ホームページ上にて訂正させていただきます）。本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社ラウンドワンに帰属しており、いかなる目的であれ無断で複製又は転送等を行わないようお願いいたします。

IR方針(サイレンス期間)について

弊社では、投資家の皆様への公平を期するため、原則として決算発表（四半期決算を含む）の約2週間前よりIRに関する取材をご遠慮頂いております。ただし、事業に関する基本的な内容、過去に発表済の内容、及び現在進行中のイベントや企画に関するお問い合わせや取材等はお受けいたします。以上、皆様のご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。

ホームページへのアクセス先

【PC用ホームページ】

<http://www.round1.co.jp> もしくは

【携帯用ホームページ】（お客様用/IR情報等なし）

docomo、Soft Bank、au

<http://www.round1.co.jp/mobile/>



携帯電話からの携帯用ホームページへの接続料や通信料(パケット料)はお客様のご負担となりますので、ご注意願います。一部の機種では、モバイルサイトをご覧いただけない場合がございます。

お問い合わせ先：株式会社ラウンドワン 管理本部 (072)224-5115